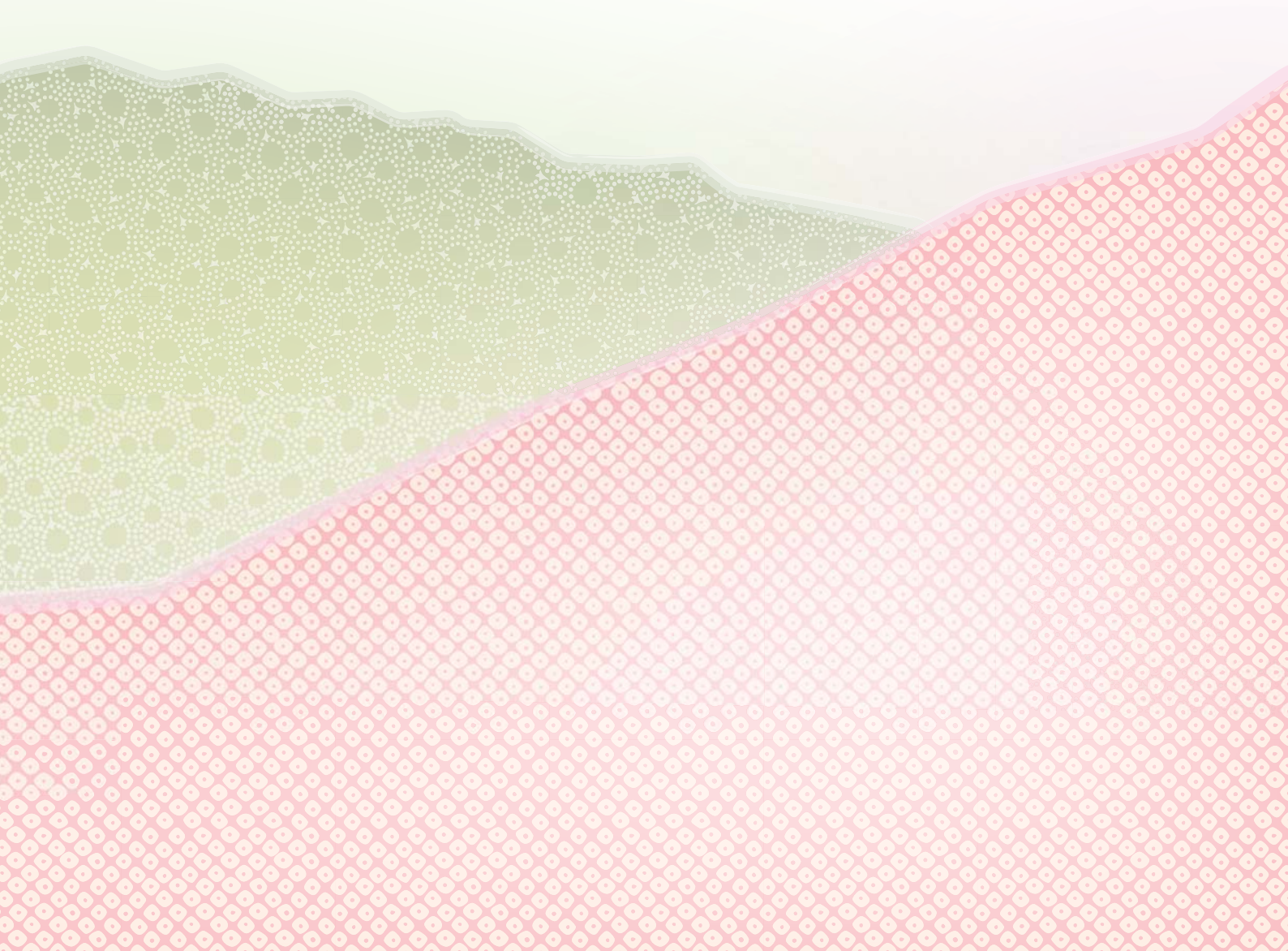


# 御所市第5次総合計画 概要版

自然と笑顔があふれる誇れるまち





御所市は、平成13年に「御所市第4次総合計画」を策定し、「緑豊かな共生文化都市」を実現するため都市基盤の整備、福祉の充実、生涯学習の充実などの施策に取り組んでまいりました。

しかし、この10年間は経済情勢の悪化、国の政策の見直し等により、御所市の財政運営が危機的な状況となり、平成21年度には早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定するに至りました。こうした状況の中、第4次総合計画に掲げた目標のとおりには事業を進捗することができませんでした。

今回、前計画の成果と課題を十分に踏まえた上で、これから取り組まなければならない課題をしっかりと確認し、「御所市第5次総合計画」を策定いたしました。

本計画は、決して夢や理想を描いた内容ではなく、今後10年間に御所市が目指すべき現実的な内容になっています。

全国的に人口が減少すると予想される中、御所市において重要課題となる人口問題に対しても、この計画にある御所市に暮らす市民一人ひとりが、心から住んで良かったと思えるまちづくりを目指すことが一つの答えになると思っています。

基本理念となる「自然と笑顔があふれる 誇れるまち」をめざす「基本構想」と、その目標に向けて施策をまとめた「基本計画」によって構成される本計画が、市民、行政が一体となって御所市が直面する課題を乗り越える指針となりますことを期待しております。

本計画の実現に向けて精一杯取り組んでまいりますので、市民の皆様、関係機関の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成23年(2011年)10月

御所市長 ひがしがわ 東川 ゆたか 裕



# 計画の構成

御所市第5次総合計画は、基本構想と基本計画で構成します。

基本構想は、御所市の将来像と施策の大綱で構成され、これからの御所市のまちづくりを進めていくための基本理念を示します。

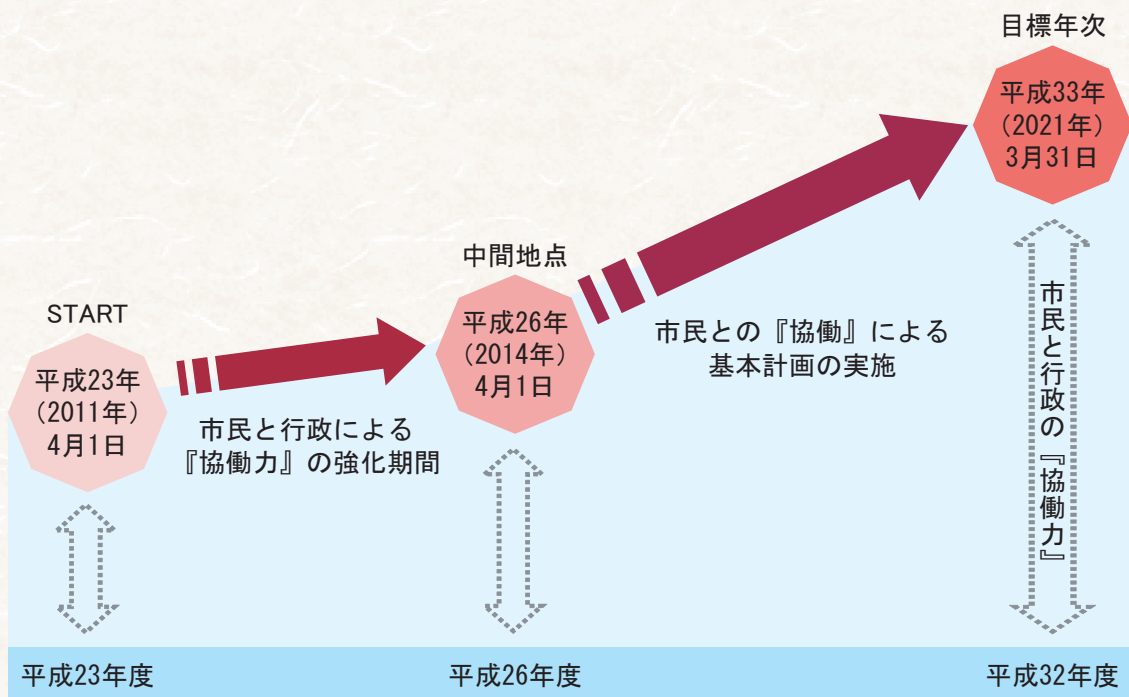
基本計画は、基本構想を実現するための施策毎の計画で構成され、現在及び将来の課題とこれを解決するための方針を示します。

御所市第5次総合計画の計画期間は、平成23年（2011年）4月1日から平成33年（2021年）3月31日までの10年間とします。

なお、平成25年度までの3年間は、財政健全化計画のもと安定した持続可能な財政基盤を構築するとともに、市民との協働の体制づくりを行いながら優先されるものから取り組む期間とします。平成26年度以降の7年間は、健全な財政運営のもと市民との協働によって将来像の実現に向け基本計画を進めていく期間とします。

ただし、社会情勢等の変動により計画策定時の見通しと大きい変化が生じた場合には、必要に応じて計画の見直しを行います。

## 将来像実現に向けた計画の推進



財政健全化計画のもと  
安定した持続可能な  
財政基盤を構築するとともに、  
市民との協働の体制づくりを行う。

健全な財政運営のもと  
市民との協働によって  
将来像の実現に向け  
基本計画を進めていく。

# 将来想定人口

第4次総合計画では、第3次総合計画に引き続き、目標人口を50,000人として掲げ、市街化区域内農地の積極的な宅地化を図り、市の南部などにおける良質で魅力ある住宅・宅地の開発を誘導することなどの住宅政策を進めてきました。また少子高齢社会への対策として住環境、子育て支援環境の充実など若年層を対象とした定住条件の整備に重点を置き、年少人口、生産年齢人口の確保に努め、バランスある年齢構成の維持にも努めてきました。

しかしながら、大規模な住宅開発も実施されず少子高齢化の進行による自然減少と、転出者の増加による社会減少によって、人口は10年間で大幅に減少し、30,000人近くまで落ち込んでいます。今後もその傾向は続くと考えられ、国立社会保障・人口問題研究所発表の推計値によると、目標年次である平成32年(2020年)には、25,000人近くまで減少すると予測されます。

本計画では、平成32年の将来想定人口を28,000人としながら、長期的には30,000人を維持できるまちをめざして、「訪れたい」「住みたい」と思われる魅力的なまちづくりに重点を置いた人口減少の抑制と人口増加のための様々な取り組みを進めます。

人口推移と将来想定人口



# 土地利用構想

## 中心市街地区域(住宅エリア)

市北部中央の市街化区域に広がる住宅地は、御所市の中心市街地であるため、道路・下水道等の生活基盤を整備することで、都市機能を高め、快適な居住環境の維持と整備を図ります。

## 商業エリア

市の玄関口となる近鉄・JR御所駅周辺の商業地では、市内公共交通の拠点であり、交通結節点として駅の機能高めることで、通勤・通学や観光等による駅利用者の増加を促し、人の賑わいを生み出し、商業の活性化、集積を図ります。

## 観光交流エリア

近鉄・JR御所駅近くにある御所まちは、身近な観光スポットとして最近注目されていることもあり、住民・NPO等と協力して歴史的なまちなみ保存に努め、観光地としての魅力を高めることにより、観光交流の拠点として整備を図ります。

## 住工複合エリア

駅周辺の商業地、住宅地では、交通の利便性が高く、地場産業が立地しており、今後も産業立地の需要が見込まれることから、地場産業を振興し、充実するため、周辺の環境に配慮しながら工業の立地誘導、整備を図ります。

## 沿道サービスエリア

御所市を通る国道24号沿いはこれまで利便性が高いにもかかわらず開発が進んでいないことから、沿道に適した商業施設の進出を促し、周辺の地域との調和した整備を図ります。

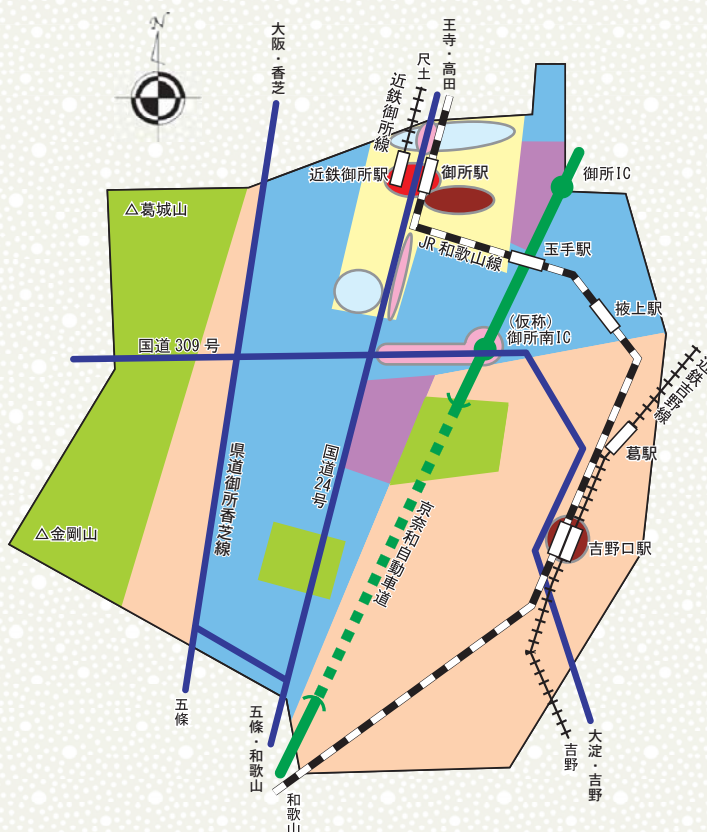
## 工業区域

既に整備済みの御所工業団地及びその周辺地域では、今後も工場の集積を図ります。さらに平成23年度に供用予定の京奈和自動車道の御所ICに隣接する地域では、奈良県の「ポストベッドタウン奈良」「南部を元気にする」構想にあるインターチェンジ周辺のまちづくりの実現に向けて、交通の利便性を活かした産業集積地としての整備を図ります。

## 農業区域

御所市の平野部に広がる農用地では営農が盛んであることから、これまで整備してきた農地の農業基盤を生かしながら、集落地の生活環境の改善を進め、優良な農地の保全を図ります。

土地利用構想図



## 観光・レクリエーション区域

御所市と大阪府の境に位置する金剛山・葛城山の山頂は御所市の代表する観光資源であることから、気軽に訪れることのできるレクリエーション登山のメッカとして、また自然とのふれあいの場としての整備を図ります。また、市の中央部にある歴史的に貴重な巨勢山古墳群の地域は歴史を感じるレクリエーションの場として、南部にある天然温泉施設を中心とする地域は観光交流のできるレクリエーションの場として利用を図ります。

## 自然保全区域

御所市西部の金剛葛城山麓並びに東部の山地・丘陵地は、古(いにしえ)より緑豊かな自然を感じさせる地域であることから、これまでの景観を維持していくために豊かな自然のまま保全します。

# 理念と将来像

3つの理念のもと、  
将来像「自然と笑顔があふれる 誇れるまち」をめざしていきます。

将来像 **自然と笑顔があふれる 誇れるまち**

## 3つの理念

市民が主役の  
支えあいのまちづくり

安全・安心 ゆとりの  
暮らしができるまちづくり

文化・産業を育み  
活力を生み出すまちづくり

# 基本計画

## 1 住み続けたいまちづくり

### 1. 市街地を中心とするまちづくり

主な取り組み項目：まちの顔づくり、地域公共交通の充実、公営住宅の整備

### 2. 市街地外周部の魅力あるまちづくり

主な取り組み項目：空き家バンク制度の創設、遊休地の有効活用、合併浄化槽の普及の促進

### 3. 心地の良い環境のまちづくり

主な取り組み項目：広域による新ごみ処理施設の整備、公共下水道の整備促進、公園墓地・火葬場の整備

### 4. 安心して暮らせるまちづくり

主な取り組み項目：災害に備える体制の整備及び強化、建築物耐震化の推進、消費者相談の充実

「住み続けたいまちづくり」の進捗を市民と共有するための指標

- 自主防災組織率（自主防災組織設立世帯数÷全世帯数）・・・57.1%⇒93.0%
- 市民1人あたりの1日に出すごみの量（ごみ処理量÷人口÷365日）・・・611g/人⇒580g/人
- 駅利用者数(JR御所駅乗車券購入者数)・・・21,754人/年⇒30,000人/年

## 2 生き生きと健やかに暮らせるまちづくり

### 1. 保健・医療体制の充実

主な取り組み項目：介護保険事業の推進、医療費助成事業の充実、母子保健活動の充実

### 2. 地域福祉の基盤整備と促進

主な取り組み項目：介護保険事業の充実、健康長寿のまちづくり、子育て支援の充実

「生き生きと健やかに暮らせるまちづくり」の進捗を市民と共有するための指標

- 母子健康相談の利用率（乳幼児相談者数÷対象者数）・・・90.0%⇒98.0%
- 特定健診受診率(特定健診受診者数÷対象者数〔国保〕)・・・20.8%⇒65.0%
- 高齢者のための設備のある住宅の割合(介護保険の住宅改修者実人数÷在宅支援認定者数)・・・10.6%⇒15.0%

## 3

## 学びあい歴史文化にふれあえるまちづくり

## 1. 家庭・地域・学校における教育の推進

主な取り組み項目：教育・学習環境の整備・充実、放課後児童健全育成事業、教育相談事業の充実

## 2. 生涯学習の充実

主な取り組み項目：生涯学習の促進、図書館業務の充実、公民館活動の促進

## 3. 地域文化の継承と発信

主な取り組み項目：文化財調査の実施、歴史資料館建設及び史跡整備の推進、地域文化の継承・発信と観光の振興との連携

## 4. コミュニティ活動の促進

主な取り組み項目：地域住民による自治振興の推進、地域防災力の向上、市民協働事業の推進

## 5. 人権を大切にす施策の推進

主な取り組み項目：人権のまちづくり、行政内啓発の推進、男女共同参画社会の推進

「学びあい歴史文化にふれあえるまちづくり」の進捗を市民と共有するための指標

- 図書館の利用(図書館の年間貸出冊数) . . . 87,344冊⇒95,000冊
- 歴史・文化イベント参加者(葛城古道を歩く会の参加者数) . . . 210人⇒300人

## 4

## 活力とにぎわいのまちづくり

## 1. 農林業の振興

主な取り組み項目：適切な森林の整備、農業振興の推進、食の安全と地産地消の推進

## 2. 企業誘致の推進

主な取り組み項目：京奈和自動車道IC供用開始に伴う新しい企業誘致・産業誘導、雇用の場づくり、産学官連携

## 3. 地域産業の振興

主な取り組み項目：地域産業の振興、商業の振興、商店街の活性化

## 4. 観光の振興

主な取り組み項目：観光情報の発信、自然と共存する観光の促進、観光ガイドの育成

「活力とにぎわいのまちづくり」の進捗を市民と共有するための指標

- 市内従業者数(事業所統計による従業者数) . . . 9,875人⇒11,000人
- 観光来訪者に対する案内数(観光ボランティアによる案内件数・案内者数) . . . 14件458人⇒50件1,000人

## 5

## 市民参加のまちづくり

## 1. 市民主体のまちづくり

主な取り組み項目：市民イベントの開催、広報広聴業務の推進と連携、ボランティア・NPO活動の推進

## 2. 市民と行政の連携

主な取り組み項目：健全で計画的な行財政運営、情報公開・情報提供の推進

「市民参加のまちづくり」の進捗を市民と共有するための指標

- 市民参加の会議数(公募による市民委員を含む会議の数) . . . 4⇒10
- 市税収納率(現年度の市税納付額÷課税額) . . . 98.0%⇒98.6%
- イベントへの市民参加(市民ふれあい体育祭参加者数) . . . 1,200人⇒2,000人

御所市



## 御所市第5次総合計画

～自然と笑顔があふれる 誇れるまち～

- 発行日 平成23年(2011年)10月
- 発行 奈良県御所市
- 企画・編集 御所市企画開発部企画観光課

総合計画本編は、御所市ホームページに掲載しています。

<http://www.city.gose.nara.jp>